

安心・安全・支え合い

四万十市平成25年度当初予算 総額299億円

■概要

平成25年度当初予算は、5月が市長改選期となるので、「骨格予算」として編成する一方で、「安心、安全、支え合いのまちづくり」をテーマに、雇用や防災対策など緊急性・重要性の高い事業の予算化や、これまでの継続性を図りながら予算編成を行いました。

また、国の補正予算などを積極的に取り入れ、平成25年度以降実施を予定していた事業を可能な限り平成24年度3月補正予算(28億3611万円)に前倒し計上しています。

この中で、地震・防災対策関連事業は、平成24年度3月補正予算前倒し分も含めて約35億円の予算を計上し、地域防災力の強化を図ります。

■一般会計

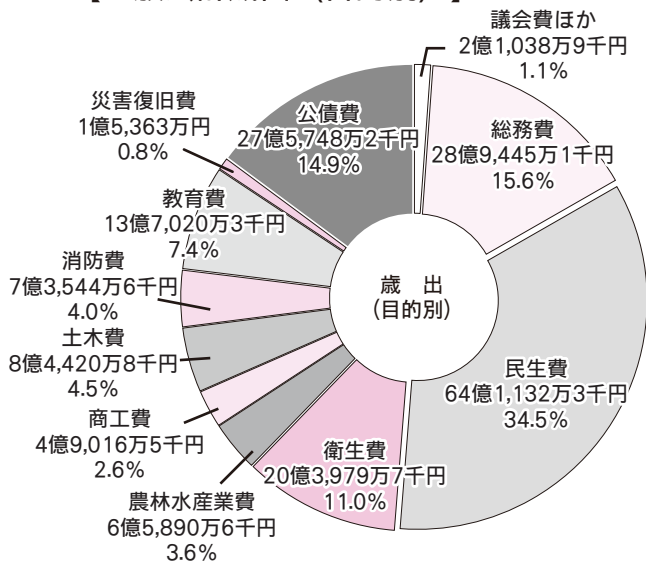
一般会計は、前年度比2.5%減となつていますが、平成24年度3月補正予算への前倒し分を加えた実質では13.9%の増となります。

普通建設事業も、地震津波対策、防災行政無線整備、学校施設の耐震化、道路整備など防災関連事業の前倒し分を加えると、実質的には16.5・1%の大幅な増となり、事業量の確保により地域経済の活性化を図ることとしています。

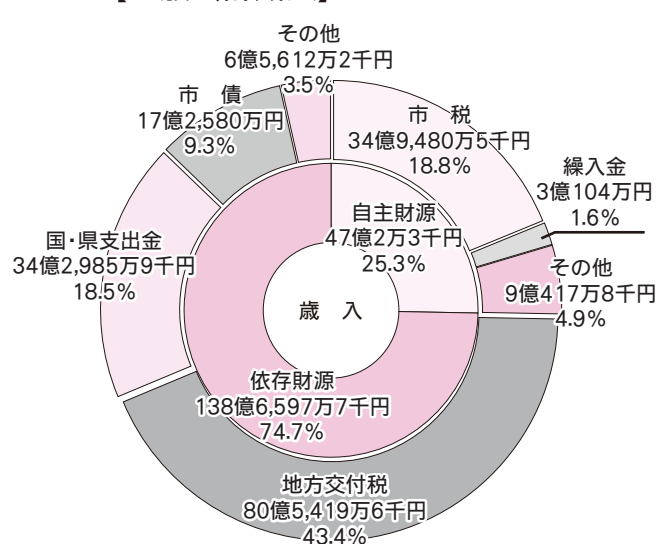
区分	平成25年度 予算額	伸率 (%)
一般会計	185億6,600万円	△ 2.5
特別会計(14会計)	104億9,370万円	△ 0.7
国民健康保険事業勘定	43億8,129万円	2.7
国民健康保険診療施設勘定	3億1,724万円	8.4
奥屋内へき地出張診療所	543万円	△ 20.1
後期高齢者医療	4億8,349万円	0.3
下水道事業	6億8,153万円	△ 25.7
と畜場	2億3,307万円	△ 23.0
幡多公設地方卸売市場事業	547万円	△ 71.8
住宅新築資金等貸付事業	104万円	△ 8.4
鉄道経営助成基金	4億 22万円	24.3
農業集落排水事業	4,877万円	1.4
幡多中央介護認定審査会	672万円	△ 1.4
介護保険事業勘定	35億9,551万円	8.5
園芸作物価格安定事業	2,810万円	0.0
簡易水道事業	3億 582万円	△ 45.1
企業会計(2会計)	27億9,374万円	△ 9.5
水道事業	6億4,909万円	△ 8.4
病院事業	21億4,465万円	△ 9.8
合計(各会計間の重複額除く)	298億6,505万円	△ 3.0

(参考)平成24年度3月補正予算 28億3611万円(前年同期比1.75倍)

【一般会計歳出(目的別)】



【一般会計歳入】



※新は今年度新規の事業
※補は平成24年度3月補正前倒し分

災害に強いまちづくりー地域防災

地震津波対策事業【9120万1千円】
防災拠点基地整備や津波避難計画の作成など、地震・津波から市民の命を守る対策。



南海地震(昭和21年)

地域防災計画改訂【10992万円】
南海トラフ巨大地震の想定を受け、地域防災計画の改訂。
消防団員報酬【2289万2千円】
報酬額の引上げを実施。

補 地震津波対策事業【4億7450万円】
津波避難路の整備、耐震性貯水槽、防災コミュニティセンターなどの整備。

補 防災行政無線整備【2億円】
地域住民へ迅速に災害情報等を伝達し、円滑な避難活動を行えるようにする対策。

補 住宅耐震診断・耐震改修・ブロック塀耐震対策助成事業【5198万円】
木造耐震診断を県下で初めて無償化。

補 学校施設耐震化事業
【9億4850万4千円】

下田、八束、蕨岡中学校の体育館改築。
下田、竹島小学校、下田、西土佐中学校のガラス飛散防止対策工事。

住みよいまちづくりー環境・基盤整備

ふるさと暮らし支援事業【2450万円】
地域の活性化と住みよい環境整備を図ることを目的に、地域が実施する集会所や生活道、農林道整備等に対して助成。

デマンド交通運行【4065万6千円】
西土佐地域と後川地区の一部、富山・蕨岡地区での実証運行を踏まえ、4月より本格運行に移行。

新 高齢者免許返納サポート制度【10万円】
交通事故の抑制のため、運転経歴証明書の交付手数料の助成を行い、高齢者の運転免許証返納制度の利用促進を図る。
総合支所・消防分署庁舎建設事業
【6億9726万7千円】
防災拠点として、また市民が気軽に訪れられるような庁舎を建設。

補 道路整備(防災・安全社会資本整備交付金事業) 【2億5646万9千円】
市民の安全・安心を確保するため、市道改良に加え、橋梁の長寿命化、路面・トンネル・附属物等の点検調査を行う。

活力あるまちづくりー雇用・産業振興

緊急雇用創出臨時特例基金事業
【31事業 1億6455万5千円】
短期間の雇用と就業機会を創出。新規の失業者のべ52人雇用予定。

新 緊急雇用創出臨時特例基金事業(起業支援型雇用創出)【7事業 9730万円】
10年以内に立ち上げた企業を支援。新規の失業者のべ21人雇用予定。

産業振興推進ふるさと雇用事業
【14事業 9458万7千円】
継続的な雇用創出を支援。新規の失業

者のべ29人雇用予定。
道の駅情報発信拠点施設整備
【1億5156万1千円】

西土佐地域の農林水産物や加工品、観光資源などの地域資源の販売、情報発信の拠点施設として道の駅を整備。
「遅咲きのヒマワリ」活用事業
【307万2千円】
ドラマ効果を観光や地域活性化につなげる。

新 幡多地域観光キャンペーン

【2000万円】
県と幡多6市町村が一体となり、魅力あふれる観光地を目指しキャンペーンを実施。

健康長寿のまちづくりー保健・医療・福祉

健康・福祉地域推進事業【3743万円】
地域づくり組織を再編し、子どもから高齢者、障害者など全ての市民が住み慣れた地域で生活を継続できる仕組みづくりを行う。

乳幼児・児童医療費助成事業
【8487万3千円】
医療費助成を、平成25年6月より小学校卒業まで拡大。
歯科口腔事業【497万2千円】
口腔ケア事業に加え、青年、壮年期の歯周病検診を実施し、歯と口の健康づくりを推進。

新 活き活き訪問健診・健康相談
【58万1千円】
市民病院医師と市保健師が地域に向く。

絆を結ぶまちづくりー対話と協調

地域おこし協力隊【1972万7千円】
隊員を3名増員し6名とする。

総合計画策定【315万円】
平成24年度の市民意識調査・基礎調査を踏まえ、本格的な策定業務に着手。

新 補 過疎集落等自立再生緊急対策事業
【5000万円】
大宮地域の集落活動を支える拠点施設の整備、仕組みづくりを支援。

誇りをもったまちづくりー歴史・文化・教育

新 文化施設建設基金積立金【1億円】
新たな文化施設の建設に向け、基金を積立てる。

新 図書館西土佐分館整備

【1086万2千円】
総合支所建設にあわせて図書館西土佐分館の整備を行う。

補 中村小学校改築事業

【3億8787万4千円】
体育館、プールの改築、屋外環境整備。

補 武道館整備事業

【5億2551万9千円】
安並プール撤去のあと、武道館を建設。



武道館建設予定地(安並プール跡)